

番号	2-5-2	表題	中川建設発生土改良プラント 32 年間の歩みと環境への負荷軽減効果について	
内容	<p>下水道普及促進を効率的に進め、埋立処分等されていた建設発生土のリサイクルを図るため、昭和 63 年 7 月に中川建設発生土改良プラントが東京都下水道局により建設された。</p> <p>本プラントでは、東京都 23 区内の下水道工事から発生する建設発生土を原料土とし、下水道工事埋戻し用の改良土を製造する事業を実施しており、周辺地域住民や足立区職員等で構成する地元協議会からの要望にも緻密に対応しながら、着実に「土のリサイクル」事業に貢献してきたところである。</p> <p>施設の老朽化に伴うリニューアル工事を機に、稼働から令和元年度末までの 32 年間の歴史と生産実績等、並びに環境への負荷軽減の効果等について報告する。</p>			
キーワード	建設発生土 改良土 土のリサイクル 環境負荷軽減			
処理区名		位置区分		
職種区分	土木	施策区分	効率化、温室効果ガス削減対策	
状態区分	調査 研究	新規性		
実施年度	令和 2 年度	全体期間	昭和 63 年度～令和 2 年度	
担当部署	管路部 土木技術課 土木技術管理担当			
発表履歴	局内			
	局外	令和 3 年度 第 58 回下水道研究発表会		
調査方法	委託調査			
関連情報	<p>経営計画 2021 p106</p> <p>中川プラントは老朽化に伴う再構築工事のため、令和 3 年度から休止中</p>			